

TAKUの 我行我素

いつもみんなありがとう！



さて2015年の幕明け。横浜銀蠅は35周年だし、俺も55歳だしの年ですね。
てか正直言うと、50歳になった時に何かの書類に印字してあった自分の年齢を見て、な〜んか不思議な思いが起こった時を境に、もう年齢の件は俺の中では終了している感があるので、55歳といってもまああんま意識はしてないんですけどね（笑） 四捨五入したらもお60歳

だとか言っても、今の時代はロックの世界でもまだまだ先輩方が国の内外問わず活躍していらっしゃるの、俺達も全然まだまだだよな。

そいえば年末に久々に銀蠅一家祭風のライブをやって、紅麗威だとか矢吹薫だとか森一馬だとかと楽しくすごしました。高校生だったあいつらもうなにげに50代。ぷw



特にミッツや薫なんてのは子供の時から知ってるので（笑）、おっさんになった今でも一緒にステージに立つとどうしても当時の感覚に戻ってしまいます。やっぱみんなとても可愛い。



そいえば先日、ベーシストとしてもアレンジーとしても作曲家としても尊敬している大先輩の後藤次利さんからFBのメッセージをいただき、久々にやりとりをすることができました。それこそ紅麗威甦の「好きさ〜」や「Goob-bye Lonely」のレコーディング以来30年以上ぶり。俺にとっての後藤次利といえ、スタジオで次利さんが弾いていたブルーのBC. RICHのイーグルを見て、そっこうで50万持ってイーグルを買いに行ったくらい影響受けてたからさ。アレンジのアプローチ、他のミュージシャンとのやりとり、そしてなによりプレイの姿勢、音に出ている性格。当時20歳そこそこだった俺にはもうすべてが強烈だったもの。 BPM190でドンカマなしのヘッドフォンふっ飛ばしながらの

熱演の様子は今でも脳裏に焼き付いている。
てか最初買ったベースの教則本も次利さんの書いたチョッパー用のだったし(笑)でも思ったよ。そういった刺激をくれた先輩のおかげで、35年ベース弾いてられるんだもんね。おかげさまで今じゃ自分のモデルまで作ってもらえる。ミュージシャンとしたら幸せだよ。



おかげさまでロックンロールの世界の先輩達とは、矢沢さんをのぞいてもうほとんどの方とバンドやったり、ライブで一緒にプレイさせてもらってきたから、これからはそれ以外の次利さん世代の有名な先輩プレイヤーの方々や、逆に次世代をリードしてきた才能ある後輩とも、どんどんプレイしてみたいななんて思ってる。あと海外のミュージシャンとも。歌や楽曲は言葉の問題ってあるけど、ベースのプレイには日本語も英語も全然関係ないですからね。サウンドは世界共通だもん。

てゆ〜かね、新年にあたりってわけじゃないですけど、自分の中で“チャレンジ”ってコトを色々考えてみたらさ。もう“成り上がる”とか“成功する”とか“夢をかなえる”じゃなんかピンとこないでしょ(笑) 今後はやっぱ“より高みを目指す”とか“極める”とか、うまく言えないけど“質”にこだわるしかないと思うわけね。“品格”とか“レベル”とかね。

というわけで、今年も頑張るよ。夜狼獅琥ね(^_^)

TAKU